

車いす用簡易スロープの製作

1 相談内容

本人が施設に通う時に、介助型車いすに乗って自宅の玄関からスロープで降りるのですが傾斜が急なので、母親からもう少し緩やかにならないだろうかと相談がありました。そこで、現在使っているスロープに付け足すようにスロープを延長して傾斜を緩やかに対応することにし、本人、母親もそれで承諾されたので、製作することとしました。

2 利用者プロフィール

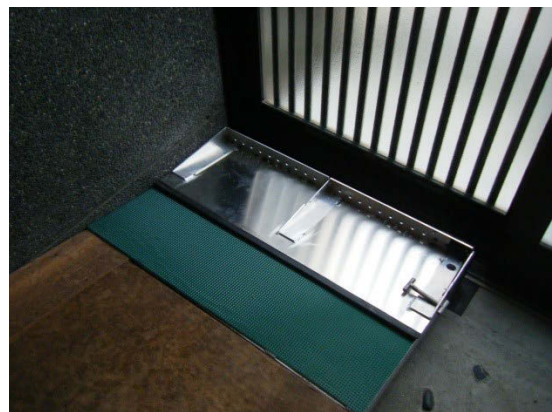
50 代男性、脳性まひによる障害のある方で身体障害者手帳 1 級です。本人は現在、両親と一緒に暮らしています。

3 対応

まず既存のスロープから傾斜角度を見て、どれだけの長さを延長するか検討しました。その結果、簡易スロープは玄関から出てしまうほどの長さになったので、使わない時には玄関の開き戸が閉まるように折りたたみができるようにしました。またアルミ板で製作したため、表面に滑り止めのゴムを貼付して、車いす介助での安全を確保しました。なおスロープを延長することによって、既存スロープの強度が不足することから、その下に補強台を置き、強度を維持しました。



既存スロープに延長して設置した様子



折りたたみの様子

4 結果

本人の介助者である母親がこの簡易スロープを問題なく使用することができました。また母親からは「簡易スロープを必要な時に設置するのではなく、ずっと置いておけるので便利。折りたたんで玄関扉を閉められるのも良い。」との感想をいただきました。